

【区域】

愛媛県大洲市

【設立時期】

2018(H30)年8月9日

【代表者】

代表理事 二宮隆久

【マーケティング責任者】

事業課長 井上陽祐

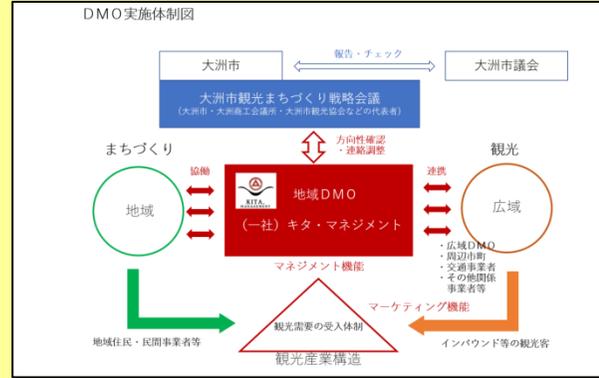
【職員数】

4人

【連携する主な事業者】

バリューマネジメント・ノオト・NOTE・伊予銀行 等

(表:実施体制)



(表:KPI(実績・目標))※( )内は外国人に関するもの

	2016年(度)	2017年(度)	2018年(度)	2019年(度)	2020年(度)
旅行消費額	—	—	計測中	目標設定	目標設定
延べ宿泊者数	121千人(303人)	115千人(669人)	計測中	110千人(800人)	115千人(1000人)
来訪者満足度	—	—	計測中	目標設定	目標設定
リピーター率	—	—	計測中	目標設定	目標設定

町並みの再生

観光まちづくり機能を担う地域DMO(一般社団法人キタ・マネジメント)など民間事業者が地域経済牽引事業計画(地域未来投資促進法)に基づき、地域資源である町家・古民家等の歴史的資源を活用して観光産業を確立する。



NPO法人YATSUGIの町並み保全活動

城下のMACHIBITO

町家を活用したクラフト系実証イベント。

本イベントで実績のあるこのエリアは、クリエイティブな若者に人気が出始め、グローバルベンチャーの進出環境が整いつつある。



大洲城・臥龍山荘の活用

大洲市の主要な観光施設かつ重要文化財である大洲城と臥龍山荘を最大限に活用した観光コンテンツを計画中。  
大洲城は、明治期に取り壊されたが、2004年に約120年ぶりに木造で復元された。名城100選にも選定されており、評価が高い。  
臥龍山荘は、明治期に衰退した茶の湯文化を守るため、大洲出身の貿易商が、京都の職人につくらせた茶室建築。  
川沿いの名建築で特別な空間を演出する。



観光コンテンツ等のブラッシュアップ

◆おおず歴史華回廊

大洲の歴史まち歩き「おおず歴史華回廊」認定案内人がまち歩きをエスコートする。インバウンド対応に向けたブラッシュアップを行う。

◆肱川のうかい

江戸期の舟遊びが鵜飼となって当地に残る。雅な城下町文化を楽しめるようブラッシュアップを図る。

◆その他

インバウンドの受入環境を含め、広域DMOとの連携により、その他の観光コンテンツもブラッシュアップを行う。

